

教育の現場で生と死に向き合うために 2014

主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会

ワークショップ

『自己の価値観と向き合う』

「子どもへの寄り添い」・「生と死に向き合う授業実践」の前に自分自身を振り返る

日時：**2014**年**9**月**27**日（**土**）**13**時～**17**時

会場：みやぎNPOプラザ 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地

講師：**藤原 匡宣** 先生

いわてこころといのちを考える教育研究会副代表
浦安市青少年交流活動センター副館長

参加費：**無料**

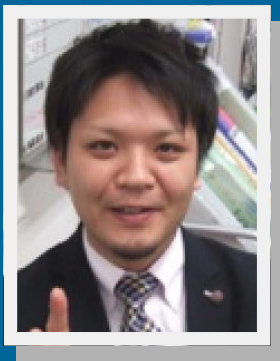
対象：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、
養護教諭、スクールカウンセラー等の教職員

大学、各種学校の教職員、学習塾、予備校等の職員
その他、子どもの教育に関わる方々

定員：**30**名 締切：**9**月**22**日（**月**）**定員に達し次第終了いたします**

講師プロフィール

藤原 匡宣（ふじわら まさのり）先生



いわて・こころといのちを考える教育研究会副代表。
日本自殺予防学会・日本保育学会・日本こども学会々員。
2008年に脱サラをし、自殺対策の現場へ本格的に転身。
NPO法人自殺対策支援センターライフリンクの専従職員として入局し、
自殺実態調査解析チーム調査員、自死遺族支援相談ダイヤル等を担当。
他、自治体等主催のゲートキーパー養成講座や、ファシリテーター養成
講座の講師も多数担当する。2009年から2010年までは、岩手医科大学医
学部神経精神科学講座「いわて・シルバー先生のこころといのちに関す
る啓発事業」検討委員を務め、学校における自殺予防教育の検討や、
自殺予防教育の授業実践に携わる。
現在は、この事業を継承した任意団体で実践的活動を継続している。

講師からのメッセージ

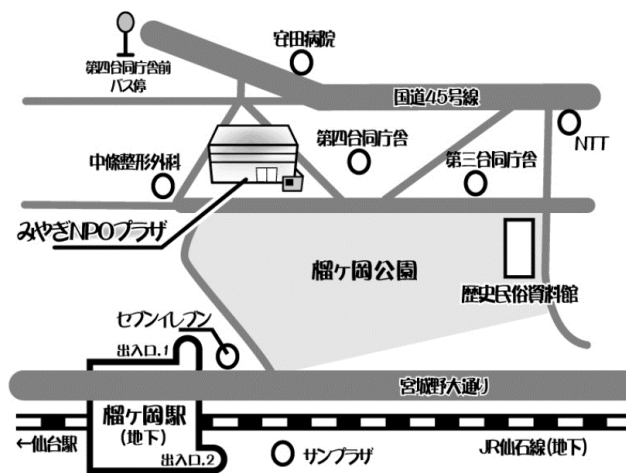
- ◆ 自分の生きている証、子どもたちの生きている証…誰かが生きていた証…
- ◆ 私たちの価値観一つで、話の聴き方や伝え方がかわる！！

今回のワークショップでは、自己覚知の過程を通じて、支援者（実践者）が価値観の領域を広げられる内容で展開していきます。

そして、それらを基にコミュニケーションの基本技術である「傾聴と受容」の方法についての検討や、自殺予防教育など「生と死」に向き合うテーマをどのように授業に取り込んでいくかなど、学校現場で生かすことのできる具体的実践方法について参加者全員で考えてみましょう！

会場アクセス

電車：JR仙石線榴ヶ岡駅下車 徒歩7分
バス：仙台市営バス、宮城交通
「第四合同庁舎前」下車 徒歩3分
無料駐車場あり



お問い合わせ・お申込み：NPO法人仙台グリーフケア研究会事務局

Tel:070-5548-2186 メール:grieffoffice@gmail.com

※メールでお申込みする際は、件名に【9/27研修申し込み】、
本文に【氏名・所属・電話番号】を明記の上、送信してください。



上記QRコードのご利用も可能です ↑ ↑

主催：NPO法人仙台グリーフケア研究会

共催：NPO法人子どもグリーフサポートステーション

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会